

## 目標達成計画

作成日: 平成23年 3月24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	地域密着型グループホームとして、近隣住民、自治会、ご家族との交流が充分ではない。	運営推進会議を開催し、地域自治会、民生委員、社協、入居者のご家族との交流の機会を持ち、認知症やその施設について理解していただく。	運営推進会議を早期に開催し、グループホームを理解していただく。また、併設のデイサービス施設を地域老人会等に、月1回程度開放し入居者との交流をはかる。	3 ヶ月
2	35	先般の東日本大震災を教訓に、災害時の避難訓練の重要性を実感した。特に避難誘導に際し職員の習熟度を上げる必要がある。	問題点、不安点を整理し、避難訓練を実施し 改善をはかる。	問題点、不安点をそれぞれのスタッフに聞き取り確認を行い改善をはかる。避難訓練は全職員が関わるように、イメージトレーニングも含め年に数回実施に努める。	3~12ヶ月
3	22	退所された方々に関して、スタッフが気にかけているが、経過フォローが行われず心配。	ご家族や移られた先に確認できるような体制を作りたい。	退所時にご家族や移転先に経過を聞かせていただくことのご理解をいただく。	12 ヶ月
4	8	権利擁護に関して知っているスタッフが少ない。	スタッフが理解できるような勉強会の機会をつくる。	理解しているスタッフを中心に 勉強会を開催し 理解を深める。	6 ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。